

## 企画提案型協働事業見直しのポイント

### ポイント1「記述の簡略化」

- ・導入の記載（要領2～3p）
- ・事業の流れ（要領4～5p）

### ポイント2「募集の区分」

- ・「自由テーマ型」と「行政テーマ型」を並列して記載（要領2p）

### ポイント3「審査方法」

- ・これまでの「1次審査」を「書類審査」、「2次審査」を「アイデア審査」、「3次審査」を「最終審査」とする。
- ・新規の「アイデア提案」と「継続提案」で審査方法を変える。
- ・「アイデア提案」については、「書類審査→アイデア審査→最終審査」、「継続提案」については「書類審査→最終審査」を実施（要領4～5p）
- ・「アイデア提案」と「継続提案」で申請様式を変える。（要領11・12p）
- ・「アイデア提案」については評価基準を絞る。（要領9p）

### ポイント4「成果報告会」

- ・市民向けに開催する。（説明会時に開催を検討）（要領5p）

### ポイント5「共同提案」

- ・応募資格に記載（要領8p）
- ・共同提案用の申請様式を新規追加（要領13p）

### ポイント6「継続事業」

- ・応募資格に、自由テーマ型で同一事業の継続は3回までと記載。（要領8p）
- ・過去の実績は遡及通算しない。
- ・「自由テーマ型」から「行政テーマ型」への移行を可とする（行政テーマ型については年限なし）。

### ポイント7「アイデアのたまご募集」

- ・市民主体の取り組みに向けたアイデアのヒントを募集
- ・通常の募集区分とは区別し、Q & A及び参考で記載（要領23・24p）
- ・28年度から実施するか引き続き検討

### ポイント8「まちづくりファンドの紹介」

- ・Q & Aに追加（要領22p）

### その他「プレゼンテーションの団体紹介」

- ・審査会プログラムに記載。例）団体・活動紹介3分以内